

一太郎 のすごいところガイド

by Kazutaro V.5

第8回 罫線機能について 実用編 枠を作ろう

1 ページ全てを文字でずらずら〜と埋めるよりも、タイトルや見出しや表が入った部分があるほうがなんか締まるっていうかメリハリが出るよね。

だから文書の中に枠を作る機会は意外と多い。ワープロやワープロソフトを購入するときは「枠が作りやすいか」ということをチェックする必要があると思う。もちろん「一太郎」はその点で優れている（と思う）。

今回は罫線機能を使った枠の描き方だ。

1. とにかく枠だ（復習）

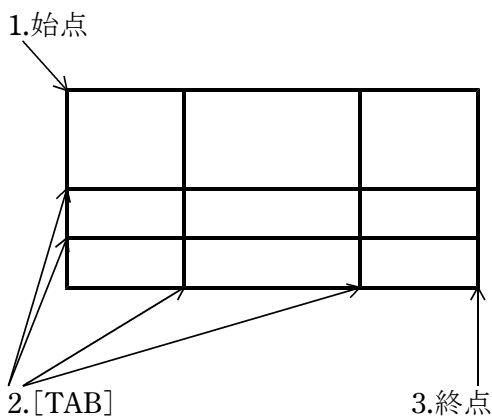
罫線機能を選択して、対角線を指定してやれば、それだけで枠は描ける。このとき[CTRL]を押しながら終点を指定すると面取りした枠になる。



なぜか行間罫線では、面取りができないようだ。

2. 次は表を作ってみる

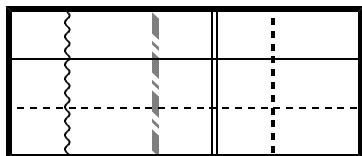
まず普通に始点を指定する。次に枠内に横線を引きたければ引きたい行で[TAB]キーを押す。縦線ならば引きたい列で[TAB]キーだ。



これだけで表ができる。これを知っているとかなり時間短縮になる。が、マニュアルを読まないとならないため、知らずに一本一本地道に線を引いている人も多いですな。

こういうところは初めての人にも優しい工夫が必要だと思うけど。

表の中の線の線種を変えたいときは [TAB] キーを押す前に [F・10] キーで線種を変更すれば、外枠と違う線で表ができる。終点を指定するときの線種が枠の線種となる。



あと、枠を作る際に [SHIFT] キーや [SHIFT] + [CTRL] キーを押しながら [F・1] ~ [F・4] キーを押すと、枠内に等間隔に線を引く (表を作る) 機能があります。しかし等間隔に線を引いて余った部分の処理などが未熟なので、私はあまり使っていません。ここら辺が完成されれば「解答用紙」を作る際など重宝しそうなのですが……。

3. 行挿入・行削除

うっかりして行が足りなくなってしまう。調子に乗って行を作りすぎてしまった……よくあることです。

表を作るときに何行必要なのか頭の中で完成図を思い浮かべてから枠を引き始めればよいのですが、まあ実際はそうもいきません。

そこで行挿入・削除です。

[SHIFT] キーを押しながら [INS] キーで行が増えます。
 [SHIFT] キーを押しながら [DEL] キーで行が減ります。
 または esc K L IorD

例えば……

年	月	特集記事
94	01	登山口駅 (野上電鉄)
94	02	石山寺駅 (京阪電気)

↑ おっ！入りきらん！というとき
 行を挿入したい位置で [SHIFT] + [INS]

とやると

年	月	特集記事
94	01	登山口駅 (野上電鉄)
94	02	石山寺駅 (京阪電気)

こうなるわけですね。

行挿入は「罫線」機能に限らず普通の文書中でも使える機能ですので覚えておくと便利ですな。

ところで、上の表は通常罫線で表を作って改行幅を $\frac{1}{2}$ にしています。

つまり出力結果は行間罫線を引いたものと同じです。

なぜこんな ややこしいことをしたかということ、行挿入は行間罫線でもできますが、残念なことに行の上になんか行を挿入するようになっていたので、結果がイマイチなのです (下表)。

行間罫線でやると……

年	月	特集記事
94	01	登山口駅 (野上電鉄)
94	02	石山寺駅 (京阪電気)

こうになってしまう……うう。

だからややこしい表を作るときは、通常罫線で線を引いておいて、改行幅で見栄えを整えた方がいいかもしれま

せんね。

行削除も挿入と同様の操作です。
要らない行はズバツと切ってしまいま
しょう。

あ〜、やっぱり要るわ〜というとき
は、あわてず騒がず、

[CTRL]+[U]

で復活できます。ただし削除した直後
のときだけね。

この[CTRL]+[U] (アンドゥ・今の無し
)も一太郎全体で利用できる便利なコ
マンドです。覚えておいて損はないで
す。

復活について、さらに余談ですが、
一太郎は削除した文書・表・図形を最
大12個まで記憶しています。ですか
ら、あ〜だいぶ前に消してしまったや
つ、やっぱ、要るわ〜というときは、

Y S (選択ペースト) で、葬り
去られた文書等を復活させてやってく
ださい。

(12個のアンドゥは、esc O S で
アンドゥ複数回と指定してあると
き。)

4. 列挿入・列削除

行挿入と同様に、列(横)を増やし
たり減らしたりする機能です。これは
行の機能と違って[SHIFT]キーによ
る機能はありませんので、まじめに

esc	K	C	I	列挿入
esc	K	C	D	列削除

で指定します。

また列挿入は、文書の1行文字数の
制約を受けますので、行挿入のよう
に気軽に増やしたりできないところが
辛いすな。一太郎 V.5 になって1行ご
との文字数や段落書式が指定できる
ようになったので、表を作る部分だけ、
1行文字数の多い段落に先に指定して
おくとよいかも知れません。

1行文字数を増やしてから作成した表

年	月	特集記事
94	01	登山口駅(野上電鉄)
94	02	石山寺駅(京阪電気鉄道)

第8回 おわり

次回も「罫線・実用編」か？